

テンカラ竿、もしくは 硬調の溪流竿3.6㍍前後

テンカラ釣りの特徴である竿を振り込むことを前提にした調子やバランス、握りやすいグリップを備えた専用竿がベストです。溪流竿で代用するときは振り込みの力に負けない硬調タイプを用いるのがベターです（力任せに振り込むと、穂先が折れることがあるので要注意）。

長さは3.6㍍が一般的。狭い場所なら3㍍、大きく開けた場所などでは4㍍という具合に釣り場の規模に合わせてセレクトしましょう。

ライン：フロロ3～4号

ラインの自重を生かして軽量な毛バリを飛ばすというのがテンカラ釣りの基本的な考え方です。

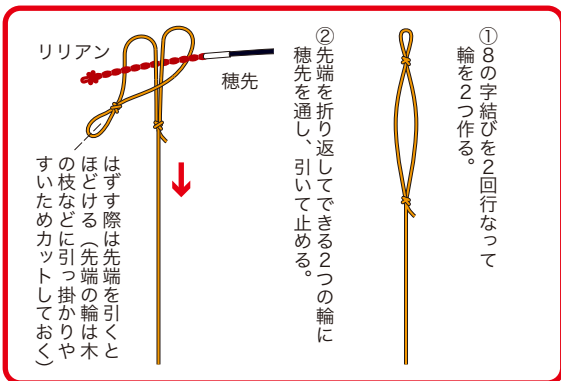
そのラインには2通りあります。1つは異なる号数を小継ぎにして重量を持たせたテーパーライン（ライン自体にテーパーがかかった市販品もあります）、もう1つは単線のレベルラインです。テーパーラインは飛距離を出しやすい、レベルラインは経済的かつ手軽にチャレンジできるという具合にどちらにも利点がありますが、シンプルさを追求したテンカラ釣りの魅力を味わえるレベルラインのスタイルがおすすめです。

使用するのはフロロの3～4号。これよりも細い号数や比重の軽いナイロンラインは軽量な毛バリを投げるにはあまり適しません。長さは竿の全長に合わせるのが基本です。

ハリス：フロロ1～1.5号 1～1.5㍍

毛バリの動きを妨げないようにレベルラインよりも細い1～1.5号を先糸としてセットします。長いほど振り込みにくいので、まずは1㍍で始めましょう。

穂先とラインはぶしょうづけで接続



②テンカラ釣りスタイル

羽化した水生昆虫をイミテートした毛バリにて渓魚を狙う方法です。釣り方自体は海外で人気があるフライフィッシングと同じですが、タックルにリールがないという違いがあります。道具立てがシンプルであるぶん軽快に釣り歩けるのが魅力。水生昆虫の羽化が本格的に始まる5月ごろからおもしろくなるスタイルです。

電車結びで直結

毛バリ：視認性のいい浮くタイプ。フックサイズは#8～16

羽化した水生昆虫をイミテートした毛バリを用いますが、その種類は多岐にわたります。それだけに最初は迷いますが、まずは視認性を重視して白色系の浮くタイプを選びましょう。というのも、テンカラ釣りは水面に浮く毛バリに飛び出る渓魚の反応を目視でとらえて合わせに移行するからです。

その他の形状やカラーの使いわけについては徐々に覚えていけばいいでしょう。

サイズはハリの号数によってかわります。#12を基準に、プレッシャーの高い川では小型の#14～16、大型が期待できる川やタイミングは大きめの#10～8のハリを使うというのが基本的な使いわけです。